2009年7月24日 北海道新聞 朝刊全道版 掲載

シリーズ21回目のテーマは《低炭素社会って？》

地球環境ノート VOL.21

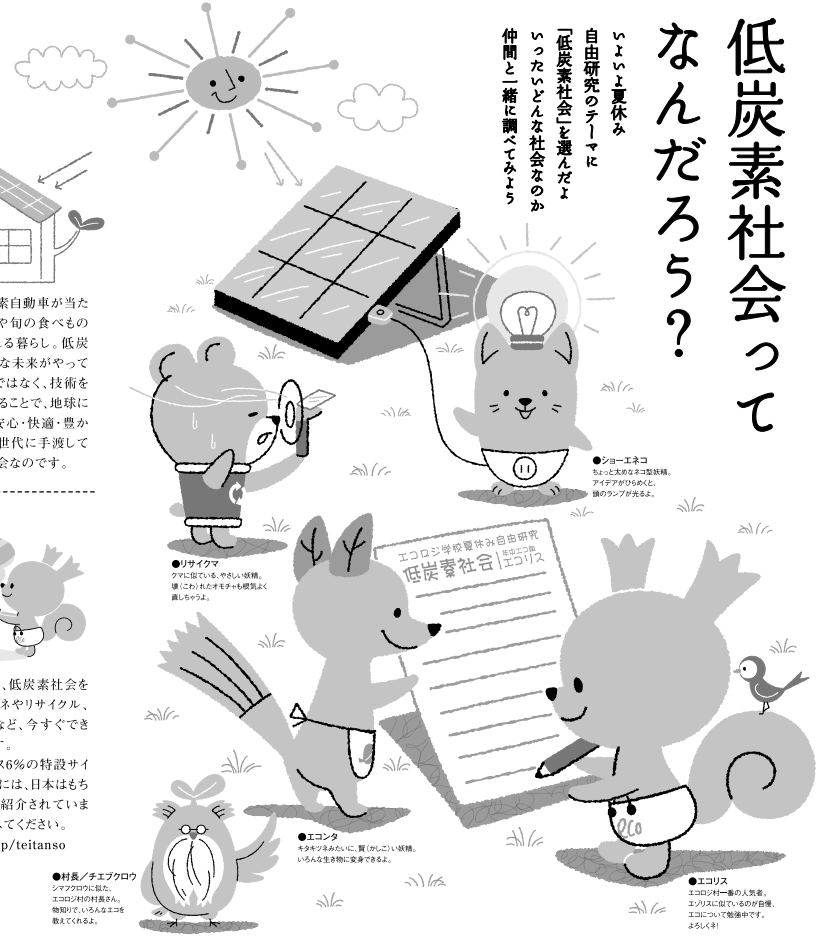
「北海道発・地球環境ノート」は、「持続可能な社会」を実現するために、地球温暖化防止に向けた温室効果ガス6%削減の取り組みをはじめ、今すぐ実践できる"地球にやさしい生活"をシリーズで幅広くお伝えします。

新聞やテレビで
「低炭素社会」という言葉が
たくさん出てくるようになりました。
エコロジ村に住むエコリス君も
「低炭素社会」に興味津々（しんしん）。
さっそく調査スタートです。

地球のこと考えよう！
HOKKAIDO!ECO
地球の"いま"と向き合い、"いま"に気付いて、"いま"から思いやりのある行動を
地球にやさしい・エコプロジェクト

低炭素社会ってなんだろう？

いよいよ夏休み
自由研究のテーマに
「低炭素社会」を選んだよ
いったいどんな社会なのか
仲間と一緒に調べてみよう



●ショーエネコ
ちょっと太めなネコ型妖精。アイデアがひらめくと、頭のランプが光るよ。

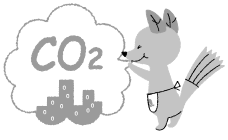
●リサイクマ
クマに似ている、やさしい妖精。頭（こあ）れたオモチャも模気よく直しちゃうよ。

●エコンタ
キタキツネみたいに、賢（かしこ）い妖精。いろんな生き物に変身できるよ。

●エコリス
エコジ村一番の人気者。エリリスに似ているのが自慢。エコについて勉強中です。よろしくネ！

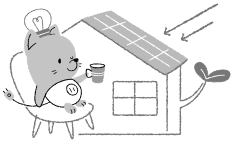
●村長／チエブクロウ
シマフクロウに似た、エコロジ村の村長さん。物知りで、いろんなエコを教えてくれるよ。

-1- CO2の少ない社会 それが「低炭素社会」さ



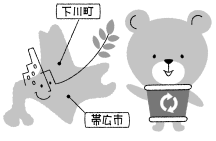
「低炭素社会」は、CO_2などの温室効果ガスの排出を抑えた社会のことで、地球温暖化防止に貢献します。昨年開かれた北海道洞爺湖サミットでは、2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量を50%削減という目標を、全世界が共有していくことが提言されました。この目標達成のため、日本は温室効果ガスの60～80%排出量削減を掲げています。

-2- ガマンじゃなくて 豊かな社会をいうんだニャ～



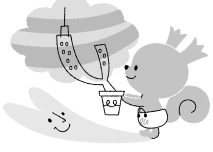
ソーラーハウスや水素自動車が当たり前になり、森の恵みや旬の食べものをふんだんに取り入れる暮らし。低炭素社会の実現で、そんな未来がやってきます。ガマンするのではなく、技術を高めたり自然と共生することで、地球に暮らすわたしたちに、安心・快適・豊かさをもたらし、それを次世代に手渡していく。それが低炭素社会なのです。

-3- 低炭素社会づくりが あっちこっちで始まってるよ



政府は、低炭素社会の実現に向けて先駆的な取り組みにチャレンジする町を「環境モデル都市」に選定しています。全国13のモデル都市のうち、北海道からは2つも。森林との共生で低炭素社会を目指す下川町と、農業を中心に環境にやさしい町づくりをしている帯広市です。自然に恵まれた北海道は、低炭素社会の先進地（せんしんち）と言えそうです。

-4- 低炭素な暮らし さっそく始めてみようっと



わたしたち生活者は、低炭素社会をつくる一員です。省エネやリサイクル、身近な自然に触れるなど、今すぐできることがたくさんあります。

また、チーム・マイナス6%の特設サイト「低炭素社会づくり」には、日本はもちろん世界の取り組みも紹介されています。ぜひアクセスしてみてください。
http://www.team-6.jp/teitanso

村長さんの知恵袋

夏休みに、親子で学ぶ「低炭素」

自然を学ぼう
「エコロZoo2009」夏休み特別展
ホッキョクグマの不思議展開催！

地球環境のことを学ぶ場として、動物園が注目されているのはご存じかな？ 札幌の円山動物園では、この夏休み、「ホッキョクグマの不思議展」が開催されるぞ。かわいいホッキョクグマの双子といっしょに、地球のことを考えてみよう。

円山動物園でホッキョクグマの生態や低炭素社会を学ぼう！

世界でも珍しい、ホッキョクグマの双子「ホッキョクグマツインズ」の生態などから自然を学ぶ、「ホッキョクグマの不思議展」が7月25日（土）から、札幌市円山動物園・動物科学館にて開催されます。かわいいホッキョクグマツインズの写真展や、ツインズの名付け親に応募できる「名前募集コーナー」、「ララスーツを着てサーモカメラに写る『ララの産室（さんしつ）体験』」、低炭素社会について分かりやすく学ぶことのできるパネル展示など、さまざまな催しが盛りだくさん。なかでも8月3日（月）には、テレビでもおなじみの演歌歌手、大江裕（おおえ・ゆたか）氏もスペシャルサポーターとして駆け付け、低炭素社会についてのクイズやトークショーなどのイベントも実施します。

ホッキョクグマの不思議展は8月16日（日）まで毎日開催。ホッキョクグマツインズから身近な"エコ"を学ぶ絶好の機会です。ぜひ足を運んでみてください！

世界でも珍しい、ホッキョクグマの双子がお出迎え！

◎イベントに関する問い合わせは
札幌市円山動物園
代表 011-621-1426
（開園時間／9時～17時）

※参考資料：チーム・マイナス6%「みんなでつくろう低炭素社会」ウェブサイト

企画制作／北海道新聞社広告局 後援／環境省